事例No.	1389
公表年度	R3
団体の属性	一般市
団体名	石川県小松市

事例区分	一般行政

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	森林整備

事例内容・タイトル

森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

石川県　小松市（森林経営管理制度に基づく市町村による間伐の実施）

- 小松市では、不在地主の増加で、手入れ不足の人工林が増え、土砂災害の発生の危険性が高まっていたことから、森林環境譲与税を財源として、森林経営管理制度に基づく取組を進め、森林整備を推進する方針。
- 令和２年度においては、モデル地区として、市内の私有林人工林122.50ha（全私有林人工林面積の2.04％）の意向調査に取り組み、不在地主の特定や森林整備箇所の把握につながった。
- 令和３年度からは、令和元年度と令和２年度に行った調査結果（173.97ha）をもとに、林業経営者に再委託可能な森林は再委託を行うほか、採算ベースにのらない森林については、市が自ら間伐等を実施する予定。

□　事業内容

1　森林所有者への意向調査に必要な事前準備の実施（220千円）

１）調査対象者の整理

２）施業履歴の整理

３）森林状況の収集

2　森林所有者への意向調査の実施（1,815千円）

１）森林所有者への事前説明

２）調査書の配布、集計

3　経営管理権集積計画の策定（８８千円）

１）森林所有者の申出による経営管理権集積計画の策定

【実　　績】意向調査面積　122.50ha （138人分）

経営管理権集積計画策定面積　1.67ha



（１：森林現況調査の様子）



（２：所有者説明会の様子）

□　事業スキーム

森林所有者への意向調査の実施



□　工夫・留意した点

地域精通者が多く、森林の境界明確化が完了していない地域から試行的に行うことで、今後の意向調査の実施計画の参考とした。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	24,858千円
②私有林人工林面積（※１）	4,152ha
③林野率（※２）	70%
④人口（※３）	106,919人
⑤林業就業者数（※３）	59人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より